

令和元年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 資源循環推進課
 担当名: 資源循環工場担当
 内線: 3103

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業		
B29	資源リサイクル拠点環境調査研究事業費		一般会計	総務費	環境費	廃棄物対策費	公共関与による資源循環モデル事業費		
事業期間	平成17年度～ 令和11年度	根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律		宣言項目 分野施策	051144 資源の有効利用と廃棄物の適正処理の推進			
1 事業概要			5 事業説明						
<p>民間リサイクル施設が集積する彩の国資源循環工場及び県営最終処分場において、県の研究機関と連携し、総合的、継続的な環境調査を実施し、安全で安心な廃棄物処理の徹底を図る。</p> <p>(1) 埋立処分に係る環境調査費 △543千円 (2) 資源循環工場操業に係る環境調査費 △420千円 (3) 環境調査評価委員会運営費 △194千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア 埋立処分に係る環境調査費 21,560千円 → 21,017千円 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び「埼玉県環境整備センター公害防止協定」に基づき、水質検査、ダイオキシン類検査、発生ガス検査、土壌検査等を実施することにより地域住民の安心・安全を確保する。</p> <p>イ 資源循環工場操業に係る環境調査費 26,887千円 → 26,467千円 寄居町及び地元地区協議会との間で締結した「彩の国資源循環工場運営協定書」に基づき、大気、騒音、振動、悪臭、水質について検査等を実施することにより公害を防止し、地域住民の安心・安全を確保する。 また、埋立地からの発生ガス測定に係る機器を更新し、環境測定の継続と精度の維持を図る。</p> <p>ウ 環境調査評価委員会運営費 1,857千円 → 1,663千円 環境調査により基準超過が判明した際に、追跡調査を行うとともに、環境問題を専門とする外部委員等により構成される評価委員会を開催し、基準超過の原因究明や対策を行い、安心・安全な運営を確保する。</p> <p>(2) 事業計画 環境整備センター及び彩の国資源循環工場の事業終了まで測定を継続する。</p> <p>(3) 補正予算の概要 経費節減による減額 △1,157千円</p>						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用) (区分) 衛生費 (細目) 生活衛生指導費 (細節) 廃棄物処理対策費 (積算内容) 廃棄物処理対策に関する事務									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2.7人=25,650千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△1,157	財産収入	△420	諸収入	△737			0	49,147
現計額	50,304		26,887		23,417			0	